

大地

四日市市立西陵中学校 第1学年 学年通信
第 24 歩
2008. 2. 18
文章責任者 学年主任 味村貴志

ポスターセッションを終えて

先週金曜日の5・6時間目は予定通りJUTの学習発表会をポスターセッション形式で行ないました。寒い中をご参観いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。例年に比べ、やや急なとりくみ日程で行なった今回の発表会でしたが、いくつかの課題を残しながらも、全体的には十分にいろいろなことを学ぶことができたとりくみになったと思っています。

金曜日当日は、どのグループも昼の休憩時間から少しずつ体育館にやってきて、準備や最終打ち合わせを始めました。ギリギリまで作成に追われていたグループもあり、1回だけのクラス内リハーサルではどうにも不安だったようで、真剣な表情で打ち合わせをしています。やがて時間になり、室長会の進行で学習発表会が始まりました。10分ずつ4回のポスターセッションを3つのブースで行ないます。自分たちのグループの発表がない3回は、1回が必ず同じ内容を発表する他のクラスのグループのところに参加し、残り2回は自分が参加しなかったインテンシブ学習の内容を発表しているところに参加する決まりです。そして参加したグループの発表を評価するようになっています。

本番が始まり、最初の3グループが緊張の中で発表を始めました。以後、全体として、どのグループも練習の成果を発揮して、よくわかる内容の発表をしたのですが、やはり本番ということと緊張のあまり、やや声が小さかったり、早口になり過ぎてしまったグループも多かったようです。終了後、教室へ戻り、3学期のJUTの活動、とりわけこの日のポスターセッションの自己評価をしましたが、その中でも同じような課題がたくさん書かれましたし、参観の保護者の方からも同じ点の指摘を受けました。

今回は、このような形での発表が初めての体験だったので、これから少しずつ経験を経て、足りなかったものを補うとりくみをしながら、よりよいものに高めていくことができればよいと思っています。ちなみに2年生以降は、ポスター（壁新聞）形式の発表から、プレゼンテーション（PC上でパワーポイントを使う）形式の発表へと進展させていきます。パソコンやデジカメ、ビデオなどの知識や技術の習得も加わり、より実践的（将来、社会へ出てからも役立つような）内容になっていきます。

これで今年度のJUTの活動はほぼ終了です。校区を知るための学習（西陵ウォッチング）から始まり、話し方や電話のかけ方、依頼文書や手紙の書き方を学び、インテンシブ学習からポスターセッションへとつなげてきた学習でしたが、来月中旬には2年生の発表を聞き、来年度前半に行なう「たてわり学習」（先輩のグループの中に入り、プロジェクト学習のやり方を学ぶ）のグループ決定を行ない、2年生になってからの準備をしておきます。また、今年学んだ内容は「職場体験」や「社会見学」のとりくみの中で、電話をかけたり、文書を送ったりする活動の中で生かされていくこととなります。



それぞれに工夫されたポスター



それぞれ20人近い観客です

本日、学年末テスト出題範囲発表！

来週月曜（25日）～水曜（27日）の3日間に、1年生最後の定期テストになる「学年末テスト」が行われます。1週間前の今日、出題範囲が発表されると同時にクラブ活動が停止になりました。これまでで一番のがんばりを見せてほしいところです。教科数も多いので、きちんと計画を立ててとりくんでほしいと思っています。